

南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ

- 中央防災会議において、平成26年3月に南海トラフ地震防災対策推進基本計画を策定し、防災対策を推進。
- 計画策定からまもなく10年が経過することから、基本計画の見直しに向け、新たな防災対策の検討が必要。
- 中央防災会議防災対策実行会議の下に、「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」を設置し、防災対策の進捗状況の確認や被害想定の見直し、新たな防災対策の検討を実施。

検討メンバー（案）

氏名	所属・職名
磯打 千雅子	香川大学 特命准教授
井出 多加子	成蹊大学 経済学部 教授
今村 文彦	東北大学 災害科学国際研究所 所長・教授
入江 さやか	松本大学 地域防災科学研究所 教授
奥村 与志弘	関西大学 社会安全学部 教授
片田 敏孝	東京大学大学院 情報学環 特任教授
加藤 孝明	東京大学 生産技術研究所 教授
越塚 登	東京大学大学院 情報学環長 教授
小室 広佐子	東京国際大学 副学長兼言語コミュニケーション学部長・教授
小山 真紀	岐阜大学 流域圏科学研究センター 准教授
阪本 真由美	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授
末松 則子	三重県鈴鹿市長
関谷 直也	東京大学大学院 情報学環 准教授
田嶋 勝正	和歌山県串本町長
根本 恵司	(一社) 中部経済連合会 常務
濱田 省司	南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会 代表世話人 (高知県知事)
平田 直	東京大学 名誉教授
廣井 慧	京都大学 防災研究所 准教授
福和 伸夫	名古屋大学 名誉教授
渡邊 廣之	イオン株式会社 執行役副社長

検討期間（予定）

令和5年3月～12月

主な議題

① 防災対策の進捗状況の確認や被害想定の見直し

- 防災対策のFUを実施し、被害想定を低減に向けた既存施策の課題を抽出
- 最新の知見や社会状況を踏まえた被害想定の見直し
- 新たな被害想定を基に、課題の解決に向け、より直接的に減災効果がある施策を検討

② 新たな防災対策の検討

- 技術の進展や他の災害の教訓、社会状況の変化等を踏まえ、今後の防災対策の検討に当たって考慮すべき課題を洗い出し
- 新たな課題を踏まえた被害想定の見直し
- 新たな課題に対する防災対策の検討